

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	農業振興事業(有害鳥獣対策業務)			シート番号	A 一般事務事業 15-36
担当部署名	産業振興	局	農政	部	農水産
				課	評価責任者(課長名) 竹平

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	4	産業を振興し、地域の持続的発展を支えます	後期実施計画の位置付け
			施策	6	元気な農業・農空間のあるまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	平成 16 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画	大阪府イノシシ第二種鳥獣管理計画(第3期)、第3期大阪府アライグマ防除実施計画			
5	事業実施の経緯	有害鳥獣(イノシシ・アライグマ)による農作物被害が発生している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他 (JA堺市、大阪府猟友会)		
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	農業者		
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	農作物被害の防止を行うことで、農地保全、遊休農地対策、農業者の安全に資する。		
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	・イノシシについては、猟友会への捕獲業務の委託、農業者に対する侵入防止資材の一部支給を実施している。 ・アライグマについては、大阪府アライグマ対策連絡協議会に参加し、大阪府アライグマ防除実施計画に基づき防除に取り組んでおり、農業者への捕獲檻の貸出し、捕獲奨励金の交付、対応業務の委託を行っている。		
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () (一社)大阪府ペストコントロール協会、(公社)大阪府猟友会			

Ⅲ. 投入量

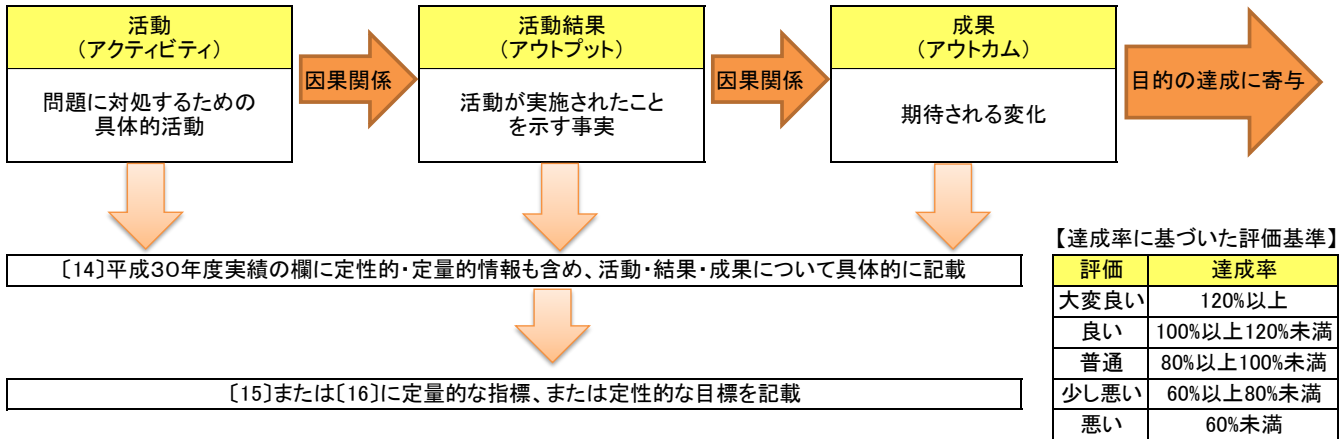
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	3,438	4,560	6,515	7,828	
	主な事業費内訳	委託料(イノシシ捕獲業務)	千円	800	1,200	3,000	3,030
		委託料(アライグマ対応業務)	千円	2,892	2,393	2,377	3,030
		その他	千円	746	967	1,138	1,768
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
	12 人件費 (b)	千円	2,460	2,460	2,460	2,430	
	13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	5,898	7,020	8,975	10,258	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	農業振興事業(有害鳥獣対策業務)	シート番号	15-36
-------	------------------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府が開催する会議等に参加し、情報交換を行い、研修を受けた。 アライグマは農業者に捕獲檻を貸出することで174頭(うち成獣は143頭)、イノシシは大阪府猟友会に委託することで29頭(うち成獣10頭)を捕獲することができた。イノシシは幼獣の方が多かったが、アライグマは成獣を多く捕獲することができたことから繁殖による増加をある程度防ぐことができた。 						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		農作物被害に係るアライグマ捕獲頭数(業務委託以外の捕獲頭数を含む)	頭	目標値	141	309	205	205
				実績値	214	172	174	
				達成率	152%	56%	85%	
	評価			大変良い	悪い	普通		
	算出方法・設定根拠など		業務委託契約時の想定捕獲頭数を目標とする。					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		有害鳥獣捕獲業務におけるイノシシ捕獲頭数	頭	目標値	27	48	27	30
				実績値	34	28	29	
				達成率	126%	58%	107%	
	評価			大変良い	悪い	良い		
	算出方法・設定根拠など		過去3年度分の捕獲数の平均を目標とする。					

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	イノシシについては目標を上回り、アライグマについては下回ったものの捕獲数については、平成29年度と同水準の捕獲数である。両者ともに繁殖力が強いうえに天敵が存在しないため、生息数は増加傾向にあると考えられるため、引き続き捕獲業務を行っていくことで農作物被害が拡大するのを防ぐ手段となる。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。